

令和6年

第5回仙北市議会定例会
教育行政報告

仙北市教育委員会

令和6年9月3日

令和6年第5回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

【学校教育課】

◇大曲仙北中学校総合体育大会の主な結果について

今年度の大曲仙北中学校総合体育大会が、6月14日から16日にかけて開催されました。

神岡野球場で行われた第3地区野球大会では、角館中学校が優勝、美郷町総合体育館で行われた卓球大会では、西明寺中学校女子団体が優勝、桧木内中学校男子団体が準優勝、大曲中学校体育館で行われた柔道大会では、神代中学校女子団体が準優勝となり県大会出場権を獲得しました。また、多くの生徒が入賞し、県大会出場権を獲得しましたので、別紙をご覧ください。

◇第66回秋田県美術展覧会の入選について

第66回秋田県美術展覧会において、角館中学校の6人の作品が入選しました。受賞者は別紙の通りです。

◇第72回秋田県中学校総合体育大会の主な結果について

7月6日から15日にかけて、第72回秋田県中学校総合体育大会が開催され、予選を勝ち抜いた市内各中学校の選手が出場しました。柔道競技では、女子団体で神代中学校が準優勝となり東北大会の出場権を獲得しました。個人では57kg級で神代中学校の佐藤伊咲季(さとう いさき)さん、70kg級で佐藤亜耶希(さとう あやね)さんが優勝し、東北、全国大会への出場権を獲得しました。水泳競技では、西明寺中学校の木元晴樹(きもと はるき)さんが100m、200m背泳ぎでそれぞれ第3位、第4位となり、東北大会への出場権を獲得しました。

◇吹奏楽コンクールの結果について

7月6日、7日に大曲市民会館で開催された全日本吹奏楽コンクール第66回秋田県県南地区大会において、角館中学校、神代中学校が中学校小編成の部で金賞、また、生保内中学校・西明寺中学校・桧木内中学校が合同で出場して中学校大編成の部で金賞を受賞し全県大会への出場権を獲得しました。7月26日、27日に秋田市で開催された全県大会では、角館中学校、神代中学校が小編成の部でそれぞれ銀賞、生保内中学校・西明寺中学校・桧木内中学校が大編成の部で銅賞を受賞しました。

◇小学生による職場体験について

ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業の一つ、小学生職場体験学習を7月31日に開催しました。市内小学生21人が、(株)セレクトラ、(株)西宮組、秋田おぼこ農業協同組合での作業体験や従業員との対話を通して、働くことや社会に役立つことの意味について考えました。8月1日には、職場体験での学びを生かし、企業が社会や地域に貢献していることをふるさとで紹介するポスターを制作しました。ポスターは、田沢湖、角館、西木の3地区で展示する予定です。

◇クマに対する取り組みについて

学校施設におけるクマによる人身被害対策として、6月10日に桧木内小学校、8月1日に角館中学校の敷地内で1本ずつ栗の木の伐採を行いました。

その他の取り組みとして、7月10日の仙北市校長会では、市内小中学校校長を対象に仙北警察署地域課長を講師にお招きしてクマ遭遇時の対応や注意点等について講習会を実施しました。また、7月30日には、学校校務員を対象にクマから避難する際の留意事項のほか、撃退スプレーの使用方法や噴霧時の狙う場所等を動画で学習しました。今後も仙北市内の児童生徒の安全を最優先とした取り組みを引き続き行っていきます。

◇仙北市児童生徒大会等出場激励金について

本市の児童生徒の文化活動及び体育活動の振興を図るために、今年度より支援してきた仙北市児童生徒大会等出場激励金の申請数は、7月末現在で文化活動1件で4人、体育活動4件で4人となっています。文化活動で申請があった秋田仙北会高橋キヌ子社中は、8月3日、4日に品川区総合区民会館で行われた令和6年度民謡民舞少年少女全国大会の民舞コンクール団体の部で優勝し、併せて読売新聞社賞も受賞しました。今後もこのように、大会等で活躍する市内の児童生徒を支援していきます。

◇子どもサミットについて

8月6日に第25回子どもサミットを開催しました。今回の子どもサミットは、仙北市の文化遺産と学校との関わりをテーマに、小・中学生に加え、各校の地域学校協働活動推進員の方々も交え、文化遺産を守り、後世に残していくために私たちができることについて意見交換を行いました。仙北市にある文化遺産の魅力を再認識するとともに、地域を支える一員としての自覚をもち、各校の児童・生徒会でできることに取り組む意欲を高める機会となりました。

◇東北中学校体育大会の結果について

8月5日、6日に福島県いわき市で行われた東北中学校柔道大会女子個人戦57kg級で神代中学校の佐藤伊咲季(さとう いさき)さんが優勝、70kg級で佐藤亜耶希(さとう あやね)さんが第3位となりました。2人は8月22日に長野県佐久市で行われた全国中学校柔道大会にも出場し健闘しました。

◇大曲仙北中学校駅伝競走大会について

8月29日に田沢湖畔で大曲仙北中学校駅伝競走大会が開催されました。今年度は降雨時に土砂流出の危険性がある相内瀉瀉野線(あいないがたかたの)線の一部箇所を除き、例年より区間を短縮して実施しました。男子の部で角館中学校が第3位、女子の部で角館中学校

が第4位となり、全県駅伝競走大会の出場権を獲得しました。なお、全県中学校駅伝競走大会は、9月29日に秋田県立中央公園で開催される予定です。

【学校適正配置準備室】

◇学校適正配置の取り組みについて

今年4月、子ども・保育園及び小・中学校の保護者を対象に、統合の組合せを四つにパターン化した学校再編試案を提示し、より望ましいと考える順位をアンケートでうかがいました。結果は広報せんぼく7月号にも掲載しています。

また、7月8日から22日にかけて、各小学校地区で市民意見交換会を開催し、合計55人の参加がありました。「みんなが納得できるよりよい再編」に向けて、様々な視点から各案のメリットや課題について意見を出していただき整理することができました。

8月6日には、学校適正配置検討委員会を開催し、これまで集めた保護者をはじめ市民の意見を踏まえ、四つの再編試案をベースに方向性を検討しました。その中で、小・中学校ともに角館・田沢湖・西木地区それぞれ1校に再編する案は、アンケートでも意見交換会においても、児童生徒数の急速な減少により、特に西木地区では再編しても数年後に再統合が必要になる可能性があるため、望まないとする意見が多く、検討委員会としては再編候補から外す意見でまとまりました。

今後は、より大きい統合となる三つの案について、小中一貫教育校とすることも含め、校舎位置や通学体制等の諸条件を加味して検討を進めます。

詳しい内容については、本議会定例会の会期中に議員の皆様にご説明の機会を設けさせていただく予定です。

【生涯学習課】

◇「二十歳の集い」について

今年度の「二十歳の集い」は、8月15日に市民会館で開催されました。当日は173人が参加し、学生時代をともに過ごした友人や恩師との久ぶり

の再会に笑顔があふれていました。

実行委員会の自主企画であるアトラクションではビンゴ大会が開催されるなど、賑やかな雰囲気ですべてを終えることができました。議員の皆様には、お忙しいところご出席いただきありがとうございます。

【中央公民館】

◇夏の防災体験教室について

7月13日に夏の防災体験教室が西木総合開発センターで開催されました。前半は日本赤十字秋田短期大学の及川真一先生による「過去の災害から学ぶ新しい防災のススメ」と題した講演や防災に役立つ便利グッズの紹介が行われました。後半は西木庁舎駐車場へ移動し、煙ハウスの避難体験や消火体験、炊き出しの実演などが行われました。当日は、地域の方々や相互連携が必要となる関係団体など約100人が参加し、災害時の備えや行動、対処法を学ぶ貴重な機会となりました。

【田沢湖公民館】

◇生保内節盆踊り大会について

8月18日に田沢湖庁舎駐車場を会場に第52回生保内節盆踊り大会が開催され、晴天にも恵まれて、踊り手、観覧者ともに昨年並みの約350人の来場者がありました。大会では、小・中学生による生保内節の唄声が華を添え、地元の伝統芸能団体をはじめ、だしのこ園の先生方のアトラクション等、会場は大いに盛り上がりを見せ、参加された方々は、思い思いに盆踊りを楽しみました。地域の賑わいをもたらした大会は、盛況にて終わることができました。

【仙北市民会館】

◇あきた朗読おとぎ芝居『辰子姫 弐』の公演について

8月11日に辰子姫を題材とした朗読おとぎ芝居「辰子姫 弐」を仙北市民会館との共催企画として開催しました。

これは、県内出身の女優である生駒里奈さんが主演で3月に由利本荘市で行った朗読おとぎ芝居を再編したもので、8月3日、4日に東京公演を行い、8月9日、10日には田沢湖畔のコーヒー&ギャラリーザワザワ、最終公演を仙北市民会館で行いました。

仙北市民会館での公演は市内の小中学生を無料で招待し、一般の方を含め約450人が来館しました。

公演終了後は生駒さんが子どもたちをバックヤードツアーということで舞台上などを案内し、普段ではできない夏休みの貴重な経験になったのではないかと思います。

仙北市民会館では、これからも芸術・文化の向上を目指して、皆さんに興味を持っていただけるような企画をしていきます。

【学習資料館・イベント交流館】

◇「おはなしばっぐ」について

学習資料館では、より気軽に本にふれあう機会が増えるよう、市内保育園を対象に「おはなしばっぐ」事業を始めました。これは、子ども用の絵本や保護者向けの本が入ったバッグを家族で選んでもらい、貸出を行うものです。

これを機に、読書の面白さや楽しさを家庭で共有し、充実した時間が増える事業となるよう目指します。

◇企画展について

新潮社記念文学館では、秋田を拠点に活動する児童書ノンフィクション作家で、クニマスを取り上げ、第64回青少年読書感想文コンクール課題図書に選ばれた「クニマスは生きていた！」の著者である池田まき子氏の企画展「池田まき子のあしあと展」を7月13日から開催しています。

今回の展示では、池田氏の足跡をたどるとともに、女性のライフスタイルをテーマにした現在の活動も併せて紹介しています。10月20日まで開催していますので、是非ご覧ください。

【平福記念美術館】

◇企画展「馬場彬—まつろわぬ画家—展」について

7月2日から9月23日まで企画展「馬場彬—まつろわぬ画家—展」を開催しています。令和4年度に寄贈された馬場作品を多数展示しています。

馬場彬は戦後を代表する抽象作家として知られ、亡くなるまでの晩年約10年間、秋田で制作を続けました。今回、晩年制作の油彩画（ゆさいが）、コラージュ等の作品を中心に展示していますので、是非この機会にご鑑賞ください。

9月14日、23日には美術館職員によるギャラリートークも開催します。どちらも午後1時30分からで約40分間となります。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げます、教育行政報告といたします。